

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

施設名 山梨県立あけぼの医療福祉センター成人寮

所管課 福祉保健部 障害福祉課

指定管理者 社会福祉法人山梨県障害者援護協会

## 1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度				
指定管理者名	出資法人	指定期間			委託料総額 (単位:円)
社会福祉法人山梨県障害者援護協会		H18.9.1	～	H28.3.31	9年 7ヶ月
社会福祉法人山梨県障害者援護協会		H28.4.1	～	R3.3.31	5年
社会福祉法人山梨県障害者援護協会		R3.4.1	～	R7.3.31	4年
					10,019,000

## 2 施設の概要

所在地	韮崎市旭町上條南割3251-1
設置年月日	昭和48年4月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例
設置目的	身体障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。
主な業務の内容	(1)施設等の維持保全に関する業務 ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 (2)利用者に対する障害福祉サービス業務 ・生活介護、短期入所、自立訓練(機能訓練)及び施設入所支援に係る業務を行う。
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積:9,060㎡ ○建築延べ面積:3,194.32㎡ ○施設の内容 ・肢体不自由者更生施設棟(鉄筋コンクリート造平屋建)3,002.29㎡ ・温室(鉄骨造平屋建)110.25㎡ ・農作業保管庫・陶芸室(鉄骨造平屋建)81.78㎡ ○各障害福祉サービスの定員 ・生活介護:45人 ・短期入所:15人 ・自立訓練(機能訓練):15人 ・施設入所支援:40人
備考 (改築工事等の状況、 一括管理施設等)	

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

## 3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
収入合計	216,532,445	210,165,342	219,616,112	235,773,416	224,256,657	
支出合計	205,831,099	211,008,777	216,192,085	220,560,785	218,122,063	
収支差額	10,701,346	△ 843,435	3,424,027	15,212,631	6,134,594	

## 4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
利用実績	106人	103人	109人	111人	106人	生活介護 44 短期入所 11 機能訓練 13 施設入所 38
利用者 満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

## 5 運営目標の達成状況(令和6年度)

令和3年度に協会が策定した「第5次中期経営計画」(令和4年度～令和8年度)、「社会福祉充実計画」(令和4年度～令和13年度)及び施設の管理運営方針に沿って、実施事業である自立訓練(機能訓練)、生活介護、施設入所及び短期入所の各事業において、利用者に安心・安全なより質の高いサービスを提供した。

自立訓練事業では、利用者の確保が難航したものの、これまで関係のあった医療機関及び相談支援員との繋がりを強化した結果、新規利用者7名を受け入れた。今年度は、サービス終了利用者が8名にのぼり、令和6年度末には定員15名に対し利用者12名となった。今年度は急な体調不良による入院や中途での施設移行希望者もあり、利用者の獲得が難しい期間もあったため、前年度に比しては利用率(年間平均利用者数10.5名、年間利用率69.9%)が下がる結果となった。

生活介護事業では、利用者の機能低下による転倒や緊急的な医療の関わりが多かったが、日頃の利用者の健康状態を十分に把握することにより、重篤な病状に至ることは稀であった。離床センサー付きベッドを引き続き有効活用し、転倒リスクがある利用者も職員が見守ることで安全に移乗することができた。益々、支援ニーズが複雑化・多様化する中において、利用者個々の状況に応じた個別対応を心掛けた。コロナ禍で休止していた外部講師による各種活動や利用者の外出活動は感染防止に留意しつつ再開し、職員の創意工夫を凝らしたメニューを提供することで、利用者の満足度向上、機能低下防止を図った。

管理面では、県による令和7年度全面LED照明化のための調査受け入れや、ワークホームからリフト付き車両の移譲を受け増車を行い車両運行に余裕を持たせた。

医務関係では、基礎疾患を抱えている利用者が多いことから、日常生活動作や体調の変化の早期発見に努め、円滑な受診行動をとることで適切な治療を受けることができた。

新型コロナウイルス感染予防対策では、国や県の指導及び感染状況を踏まえ、利用者並びに職員の検温など健康観察、活動内容の変更や面会・外出・来所者の制限等を機会あるごとに見直ししながら感染予防対策を継続してきた。当所でも2月から3月にかけて利用者10名のクラスターが発生したが、重症化することなく終息に至ったので、感染防止対策を徹底しながら利用者への福祉サービスを継続することができた。

最後に令和6年度は、指定管理期間の最終年度にあたり、県からこれまでの指定管理者として一定の評価を受け、所定の手続きに基づき事業計画書等を提出し、次年度以降の指定管理者候補者として選定された後、県議会において議決を経て次年度以降4年間、指定管理者として管理運営に継続して携わることになった。

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和6年度事業分)

## 6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和6年度)

自立訓練では、利用者の獲得が難しい期間があったが、関係機関との連携を強化するなど、新規利用者の確保に努めた。また、施設の維持管理や利用者へのサービスの提供を適切に行った。

本施設は入所施設であることから、施設内に感染が拡大すると、利用者の健康や施設の運営等に甚大な影響が生じる恐れがあるため、職員や利用者には感染予防対策に留意することを県から要請した。クラスターが1件発生したが、迅速な対応を行うことで、重篤者を出すことなく終息させることができた。

また、乾燥機の設置台数の増設や新たなリハビリ機器を積極的に購入することで、利用者へのサービス向上に努めた。

利用者満足度調査では、どの設問においても、「どちらかと言えば満足」以上が87.5パーセント以上を占め、高い水準を維持しており、様々工夫しながら利用者の立場に立った支援を行っている。

## 7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和6年度)

前年から引き続き感染症対策については、山梨県のホームページに掲載されている「やまなし感染症ポータルサイト」にて県内の状況を把握しつつ、地域の状況に応じて警報が出た時などは感染性胃腸炎の対策を強化する等、随時対応した。しかし、時々発生するコロナ感染では年度末にクラスター化はしたものの、重篤化や入院することなく1ユニット内で感染防止できたことは、今までの対策によるものと考えられる。

また、コロナ感染により短期入所や通所を休業して、感染拡大防止の対応したことによる利用率が下がってしまったが、緊急時は安全を優先するための対応であった。

防災訓練・水難訓練等は、災害時BCPを防災委員会でも確認しつつ避難訓練にも反映させている。

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

施設名 山梨県立あけぼの医療福祉センター成人寮

所管課 福祉保健部 障害福祉課

指定管理者 社会福祉法人山梨県障害者援護協会

## 1 利用状況

(単位:人、%)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	生活介護	42	42	45	45	44
	短期入所	14	14	13	12	11
	自立訓練(機能訓練)	13	10	12	15	13
	施設入所	37	37	39	39	38
	利用者数合計	106	103	109	111	106
	目標値	115	115	115	115	115
	実績/目標割合	92.2%	89.6%	94.8%	96.5%	92.2%
目標値の設定方法		定員を目標値とする				
利用率	稼働率等(利用率)	92.2%	89.6%	94.8%	96.5%	92.2%
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者数/施設の利用定員				

## 2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あゆみの家:自立訓練(通所20人、夜間20人)、短期入所(2人)</li> <li>・梨の実寮:生活介護(52人)、就労移行支援(6人)、就労継続支援B型(12人)、施設入所支援(50人)、短期入所(6人)</li> <li>・あさひワークホーム:生活介護(46人)、就労継続支援B型(34人)、施設入所支援(40人)、短期入所(5人)</li> <li>・育精福祉センター成人寮:生活介護(105人)、短期入所(9人)、施設入所支援(90人)</li> </ul>
----------	---

## 3 補修工事等の状況(令和6年度)

(単位:円)

管	Dユニット利用者トイレウォシュレット2台更新	353,320
管	玄関正面監視カメラ交換	286,000
管	浴室天井リフトベルト交換	61,600
管	東側入口扉戸車交換	52,800
管	事務室エアコン室内機部品交換	44,000
管	トイレ呼び出し押しボタン交換	30,690
管	非常誘導灯バッテリー交換	28,600
管	水道バルブ交換 他4件	66,165

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施

\*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

## 4 自動販売機設置状況等(令和6年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
1	随意契約	25.463円/本	150,283	
1	随意契約	30.556円/本	124,455	
1	随意契約	20円/本	82,480	

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

## 5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収 入	A 収入額計	216,532,445	210,165,342	219,616,112	235,773,416	224,256,657
	施設利用料	209,348,343	203,927,174	209,279,082	228,257,699	222,056,016
	指定管理委託料			2,487,000	159,552	1,340,034
	自動販売機収入	380,465	358,870	347,749	341,384	357,218
	その他	6,803,637	5,879,298	7,502,281	7,014,781	503,389
支 出	B 支出額計	205,831,099	211,008,777	216,192,085	220,560,785	218,122,063
	人件費	139,217,589	145,191,301	149,346,392	152,571,391	148,872,848
	修繕費	679,910	455,130	388,553	578,908	923,175
	光熱水費	5,490,036	5,561,840	7,292,758	5,737,178	6,831,174
	消耗品費	2,995,858	2,206,348	1,641,146	3,077,728	2,599,796
	賃借料	2,597,136	2,670,011	2,683,960	2,811,220	2,823,138
	燃料費	5,713,627	7,374,647	8,354,525	8,480,954	8,167,057
	保険料	454,200	446,910	441,820	437,750	440,900
	給食費	30,847,039	30,087,113	30,292,794	32,974,411	32,440,291
	保健衛生費	759,470	885,292	628,930	710,949	812,436
	福利厚生費	642,904	616,105	672,426	671,998	657,263
	教育指導費	537,128	572,341	43,531	565,974	672,768
	日用品費	285,176	359,004	409,516	394,242	446,953
	教養娯楽費	514,029	421,226	395,332	472,786	556,138
	介護用品費	1,524,886	1,279,863	1,540,642	1,339,273	1,483,067
	車両費	713,106	1,349,287	947,415	1,037,162	1,171,191
	通信運搬費	427,274	431,529	426,905	423,935	437,487
	保守料	398,640	398,640	398,640	398,640	425,040
	その他(減価償却費等)	6,895,612	5,809,936	5,256,776	2,919,566	3,656,818
	外部委託費	5,137,479	4,892,254	5,030,024	4,956,720	4,704,523
	廃棄物処理業務	5,137,479	4,892,254	5,030,024	4,956,720	4,704,523
	外部委託比率	2.5%	2.3%	2.3%	2.2%	2.2%
	県への納付金					
収 支 差 額 ( A - B )		10,701,346	△ 843,435	3,424,027	15,212,631	6,134,594
一人当たり指定管理者委託料 *		2,042,758.9	2,040,440.2	22,816.5	1,437.4	12,641.8

\* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

## 6 利用者満足度

実施方法等	調査対象者:入所・通所利用者(日中事業:生活介護・自立訓練利用者)対象 調査方法:聞き取り及び自己記入 調査期間:令和7年2月3日～2月14日 調査人数:57人			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
施設設備	59.0%	32.1%	8.9%	
プライバシーや個人情報の保護	78.6%	17.9%	3.5%	
食事の内容	64.3%	25.0%	8.9%	1.8%
職員の対応の仕方	69.6%	21.4%	5.4%	3.6%
支援内容(訓練・活動以外)	66.1%	26.8%	7.1%	
訓練・療法・活動内容	62.5%	25.0%	8.9%	3.6%
総合的な感想	66.1%	25.0%	7.1%	1.8%
施設全般の満足度	90.0%	6.0%	3.0%	1.0%
利用者の主な意見	<b>【施設設備】</b> ・衣類乾燥機を増やしてほしい。 ・お部屋を広くしてほしい。 <b>【食事内容】</b> ・早く制限食から普通食になりたい。汁ものが少しぬるい。 ・居室でおやつを食べられないのが残念。 <b>【訓練・療法・活動内容】</b> ・入浴の順番について通所者は早く帰るので先にしてほしい。 ・もっと職員とリハビリで歩きたい。			
利用者の意見への対応	<b>【施設設備】</b> ・現状洗濯室の洗濯機、乾燥機の増設は場所的にできないので、洗濯機台数を減らして乾燥機を増設する対応をしました。 ・個室である構造上や基準を満たしていることから拡大することはできませんが、片付けのお手伝い支援をいたします。 <b>【食事内容】</b> ・体調管理の観点から食事形態や低エネルギー食の提供を利用者に応じて了解を得て提供しています。センターとの給食委員会を定期的に開催し、利用者からの要望も直接意見を伝えています ・利用者個室での食事は誤嚥のリスクがあり危険なため、食堂での食事をお願いしています。 <b>【訓練・療法・活動内容】</b> ・入浴順序は、通所者の送迎時間にも考慮しつつ入浴していただいています。 ・リハビリについては療法士が計画的に行っていますが、訓練時間が増やせるか対応を検討していきます。			

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

## 7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理 業務	<p>利用者の安全とともにサービスの提供が円滑に行われるよう、建物・施設周辺を管理担当職員が主体となって、設備等の保守管理に努めた。併せて年度末には、1級建築士による建物設備の法定点検を実施した。</p> <p>また、消防防災設備については、防災担当者が毎月自主点検を実施。火災報知器・非常通報装置などの特殊機器は、委託した専門業者により定められた期間ごとに法定点検を実施した。</p>	<p>概ね適正に維持管理が実施されており、消防防災設備については、毎月自主的に点検を実施した。</p> <p>長寿命化点検、建築基準法に基づく点検等の結果を踏まえ、引き続き、利用者の安全を最優先とした整備の計画・実施をお願いしたい。</p>
運営業務	<p>利用者及び家族に対し、施設が掲げる当該事業の基本方針や支援内容をわかりやすく説明するとともに、目標達成に向けた個別支援計画に基づいた支援を提供した。</p> <p>職員は、虐待防止チェックリストを活用し、自らの支援姿勢や態度を省みて、より質の高いサービスの提供に繋げた。調査の結果については、虐待防止委員会で検証し周知を図った。</p> <p>衛生面では、新型コロナウイルス感染者が随時発生しつつも、ゾーニングで拡大防止に努め、事業停止することなく継続運営することができた。</p>	<p>概ね適正に運営されている。</p> <p>職員は、自らの支援姿勢等を振り返るなど、支援の質を高める努力を行っている。</p> <p>引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供をお願いしたい。</p> <p>また、今後も新型コロナウイルス感染症の感染対策に配慮しながら適正な運営に努めること。</p>
利用状況	<p>施設利用促進のため、ホームページを担当職員により都度速やかに情報更新し、X等によるリアルタイムでの事業実施状況やPRの発信に努めた。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染防止対策についても情報を更新し、面会の再開など関係者へ向けて情報を提供した。</p> <p>自立訓練にあつては、有期限の事業であるため、新規の利用者獲得に向け、リハビリ病院や関係機関との関係を強化し、安定した利用率の確保に努めた。</p>	<p>ホームページやSNS等様々な工夫を凝らしながら、リアルタイムの情報発信を速やかに行うことで、利用促進に努めている。</p> <p>また、自立訓練においては、関係機関との関係を強化し、利用率の安定化に努めた。</p> <p>引き続き、利用者の確保に向けた対応を実施していただきたい。</p>
収支状況	<p>収入については、自立訓練事業・短期入所の利用者減により昨年比減収となったが、平年以上の収入は確保できた。</p> <p>支出は、収入の減により固定資産の設備投資は大幅に減らして対応し、他消耗品などは節約により事務・事業費では昨年並みに抑えることができ、結果的に収支プラスとすることができた。</p>	<p>昨年比で減収となったが、平年以上の収入の確保及び徹底した経費の節減により、安定した施設経営を行っている。</p> <p>引き続き、施設・設備の計画的な修繕及び経費の節減を行うとともに、施設経営の安定に努めること。</p>
自主事業		
利用者満足度	<p>施設設備や支援内容等について、満足度調査では91%の利用者から「満足・どちらかといえば満足」との回答をいただいた。</p> <p>要望等に対しては、その理由と事情について、利用者に丁寧に説明し、納得していただけるよう心掛けた。</p> <p>また、施設内の接遇面においても職員の自己チェックを活用して振り返るとともに、評価の低い項目にあつては、改善のため強化月間を設けて対応し利用者の満足度向上に努めた。</p>	<p>どの設問においても、「どちらかと言えば満足」以上が87.5%以上を占め、施設利用者の満足度は高いと言う結果となった。</p> <p>引き続き利用者が満足を得られるよう努めるとともに、低評価項目への改善に努めていただきたい。</p>

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

## 8 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
施設利用者の満足度向上のための 取組み	<p>利用者満足度調査結果の「施設全体の満足度」における「満足・どちらかといえば満足」の割合を評価指標として、目標値を80%と設定。</p> <p>職員会議等における調査結果の共有や利用者への丁寧な説明等を行い、「満足・どちらかといえば満足」の割合が96%となっており、目標を達成した。</p>	<p>満足度調査結果の分析や職員による検討会を行う等、引き続き利用者の要望に可能な限り対応すること。</p> <p>他の項目と比較して「満足・どちらかといえば満足」の割合が低い「施設設備」「訓練活動内容」について、可能なことについて改善を図り、改善が困難なことについては、利用者に丁寧に説明し理解を得るよう努めること。</p>
感染症対策	<p>本施設は入所施設であることから、施設内に感染が拡大すると、利用者の健康や施設の運営等に甚大な影響が生じる恐れがあるため、職員や利用者には感染予防対策に留意することを県から要請した。</p> <p>また、施設内で感染者が発生しないことを最善と想定し、目標とした。</p> <p>2月末にクラスターが1件発生し利用者10名が感染したが、迅速に対応した結果1ユニット内のみで重症化することなく終息した。</p>	<p>多数の者が施設を使用することから、引き続き感染対策を実施されたい。</p> <p>また、感染者が発生した場合の対応内容について、確認しておくこと。</p>



指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和6年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和6年4月1日現在

